

横須賀海軍施設における排水処理施設からのP F O S等を含む排水に関する
在日米海軍司令官への申し入れについて

1. 日 時：令和4年10月6日（木） 午前11：00～11：40
2. 場 所：在日米海軍司令部 会議室
3. 出席者
当 方：市長、市長特命参与
先 方：在日米海軍司令官、米海軍横須賀基地司令官
4. 応答内容：以下のとおり

【市長】

今回の件については、極めて遺憾であり、これまでの信頼関係が大きく損なわれたと感じている。厳重に抗議させていただく。

【在日米海軍司令官】

今回の件で、横須賀市民の方々をはじめ、皆様に不安な気持ちを抱かせてしまったことを大変申し訳なく思っている。私自身心を痛めているし、反省している。

【市長】

生活排水ライン、産業排水ラインの入口と出口の数値について情報提供をしてほしい。

【在日米海軍司令官】

8月29日のサンプリング調査では、
生活排水ラインは入口で11,100ng/L、出口で8,592ng/L、
産業排水ラインは入り口で138.9 ng/L、出口で5,450ng/Lの数値が検出された。

さらに、8月30日に追加のサンプリング調査を実施したところ
生活排水ラインは入口で34.7ng/L、出口で164ng/L、
産業排水ラインは入り口で43.4ng/L、出口で253ng/Lの数値が検出された。

【市長】

このような暫定目標値を大きく上回るP F O S等を含む排水が流出している現状を一刻も早く改善してほしい

【在日米海軍司令官】

現在も原因究明に全力で取り組んでいる。

【市長】

排水を止めることはできないのか。

【在日米海軍司令官】

基地内のトイレ、流し台等の水回りの排水は全てここの排水処理施設を通していている。これを停止させてしまうと、基地内に住んでいる住民が移転する必要が出てしまうので、現実的に不可能である。

【市長】

粒状活性炭を使用したフィルターの設置を早急に行い、早急に稼働してほしい。

【在日米海軍司令官】

現在、フィルターを設置するための地盤工事を実施しているところであり、早急に設置できるよう尽力している。

【市長】

現在の米軍の調査について説明してほしい。

【在日米海軍司令官】

建物から出された排水が一度溜まる場所があり、それをリフトステーションと呼んでいるが、そのリフトステーションは全部で22か所あり、現在それらのサンプリング調査を実施しているところである。また、排水処理施設内の汚泥調査も含めてサンプリング調査中である。結果はまだ出ていない。

【市長】

設置までの間、可能な限りの対策を早急に実施してほしい。

【在日米海軍司令官】

リフトステーションから排水処理施設の間、一か所大きなタンクがあるが、そのタンク内の水を汲み取ることを検討している。

【市長】

再発防止のためには、原因究明が不可欠である。国による環境補足協定に基づく立ち入り調査を受け入れ、日米政府で早期に原因究明を図り、早急に現状を改善してほしい。

【在日米海軍司令官】

立ち入り調査については、日米両政府で協力して実現できるよう努力したい。

【市長】

月に1回のサンプリング調査だけではなく、もっと頻繁に調査を実施するとともに、結果の判明にかかる時間を短縮し、情報提供いただきたい。

なお、横須賀市で周辺海域の取水調査を12日に実施する予定で、結果判明は19日の予定である。

【在日米海軍司令官】

月1回の調査ではなく、2週間に1回サンプリング調査は実施していく。結果判明までの期間については、米軍が認定した研究所のみでしか検査ができず、それが米国本土にしかないので、結果判明までに日数を要してしまっている。結果判明までの期間について短縮できないか、あらゆる方向から模索していきたいと思っている。

【市長】

今後のフィルター設置後の粒状活性炭を含むPFOS等の含有物の管理を徹底してほしい。

また、PFOS等を含む製品の代替品への交換後も、既存のPFOS等についての厳重な管理をお願いしたい。

【在日米海軍司令官】

PFOS等の処理については、日本国内の然るべき処理施設に搬出して処理を行っている。

繰り返しになるが、今回の件で、横須賀市民の方々をはじめ、皆様に不安な気持ちを抱かせてしまったことを大変申し訳なく思っている。

【市長】

本日は詳細に説明いただき感謝する。

今後も、緊密に情報共有できる関係を続けていきたいと思っている。

以上